

セクション1：化学品及び会社情報

製品特定名

製品形態 : 混合物
品名 : Snoop®

化学品の推奨用途と使用上の制限

化学品の用途 : 本品は水、非イオン性界面活性剤、および殺菌剤を独自の方法で混合した混合物である。

安全データシート供給者の詳細

供給者/製造者

Swagelok Manufacturing Company, LLC
29495 F.A.Lennon Drive
Solon, Ohio 44139
440-519-4000
www.swagelok.com

緊急電話番号

緊急電話番号 : Infotrac (追跡) 電話番号 : 1-800-535-5053

セクション2：危険有害性の要約

化学物質または混合物の分類

GHS-JP分類 未分類

ラベル要素 該当ラベルなし

その他の危険有害性

結果として分類されないその他の危険有害性 : 暴露により眼、皮膚および呼吸器の既往症の状態が悪化する可能性がある。

セクション3：組成および成分情報

日本の危険有害性周知基準JIS Z 7253およびJIS Z 7252の安全データシートの要件に基づき、本混合物の成分の開示は義務付けられていない。

セクション4：応急措置

応急措置の説明

応急措置 - 一般 : 意識のない人の口には何も与えないこと。気分が悪い場合、直ちに医師の診察を受けること（できればラベルを見せる）。

応急措置 - 吸入した場合 : 症状が出た場合、新鮮な空気のある場所へ移動し、漏洩が疑われる場所を喚起すること。呼吸困難な状態が続く場合は、医師の診察を受けること。

応急措置 - 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹸でやさしく洗うこと。炎症が出た場合や続く場合は、医師の診察を受けること。

応急措置 - 眼に入った場合 : 水で5分間以上入念に洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。炎症が出た場合や続く場合は、医師の診察を受けること。

応急措置 - 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。医師の診察を受けること。

応急処置をする者の保護および保護措置 : 適切な個人用保護具（PPE）を使用すること。手袋。保護眼鏡。防護服。

最も重要な急性と発症の遅い症状/影響

症状/影響 : 通常の使用条件下では、重大な危険有害性は想定されていない。

吸入後の症状/影響 : 長時間にわたる暴露は炎症の原因となる可能性がある。

皮膚に触れた後の症状/影響 : 長時間にわたる暴露は皮膚の炎症の原因となる可能性がある。

眼に入った後の症状/影響 : 眼に軽度の炎症が生じる原因となる可能性がある。

飲み込んだ後の症状/影響 : 有害事象の原因となる可能性がある。

慢性症状 : 通常の使用条件下では、一切想定されていない。

必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の診断、手当を受けること。医師の診断が必要な場合は、製品の容器またはラベルを手元に用意すること。

セクション5：火災時の措置**消火剤**

- 適切な消火剤 : 周辺火災に応じて適切な消火剤を使用すること。
- 使ってはならない消火剤 : 強い水流は使用しないこと。強い水流は火災を拡大させる可能性がある。

化学品から生じる特定の危険性

- 火災の危険 : 不燃性。
- 爆発の危険 : 本品は爆発性ではない。過度の熱にさらされた場合、容器が破裂する可能性がある。
- 反応性 : 通常の使用条件下では、危険な反応が生じることはない。

消防士用の特別な防具と予防措置

- 火災時の予防措置 : 化学火災に対処する時は注意すること。
- 特有の消火方法 : 暴露された容器を冷却する際は、水噴霧または霧を使用すること。火災によって発生した煙や分解により放出された蒸気を吸入しないこと。
- 消火を行う者の保護 : 呼吸器の保護具を含む適切な保護具なしで火災区域に入らない。
- 危険有害燃焼生成物 : 酸化炭素（一酸化炭素、二酸化炭素）。窒素酸化物。シアン化水素。硫黄酸化物。

セクション6：漏出時の措置**人への予防措置、防具、および応急処置法**

- 一般的な措置 : 長時間にわたる眼、皮膚、衣服との接触を避けること。吸入を避けること（蒸気/ミスト/スプレー）。
- 二次的事故の予防措置 : 対象区域を換気すること。
- 非緊急事態要員に対して
- 保護具 : 適切な個人用保護具（PPE）を使用すること。
- 応急処置法 : 不要な人員を避難させること。

緊急事態要員に対して

- 保護具 : 清掃要員に適切な保護具を使用させること。
- 応急処置法 : 緊急事態要員には、現場に到着後、危険物の存在を認識し、自身と他の人々を保護し、現場の安全を確保し、事態に応じて訓練を受けた人員の援助を要請することが期待される。対象区域を換気すること。

環境上の予防措置

下水道や公共水域への侵入を防ぐ。

封じ込めと流出物洗浄の方法および用具

- 封じ込めの方法 : 溝を作るか、吸収材に吸収させて飛散物を封じ込め、下水道や水路への移動および侵入を防ぐ。
- 洗浄方法 : 直ちに飛散物を清掃し、廃棄物を安全に廃棄する。不活性物質で飛散物を吸収する/封じ込める。飛散物を適切な容器に移し、廃棄する。飛散後、所管官庁に連絡する。

他のセクションの参照

「セクション8：暴露制御および保護措置」および「セクション13：廃棄上の注意」を参照。

セクション7：取扱いおよび保管**安全な取扱いのための予防措置**

- 取扱い時の追加の危険 : 標準的な業界の慣行に従って取り扱い、適切な方法を使用すること。適切に維持管理すること - 表面が濡れている場合にも乾燥している場合にも、飛散物は滑りやすい可能性がある。
- 安全な取扱いのための予防措置 : 飲食や喫煙前、および作業現場から離れる際には、必ず低刺激性石鹼と水で手および取扱物質と接触した身体の各部位を洗うこと。長時間にわたる眼、皮膚、衣服との接触を避けること。蒸気/ミスト/スプレーの吸入を避けること。適切な個人用保護具（PPE）を使用すること。
- 衛生対策 : 適切な産業衛生および安全上の手順に従って取り扱うこと。再使用前に汚染された衣類を洗濯すること。

混触危険性を含む、安全な保管条件

技術的措置	: 適用される法律に従うこと。
保管条件	: 使用時以外は、容器を閉じること。乾燥した冷所に保管すること。直射日光、極端に高い温度や低い温度、混触危険物質を避けて保存/保管すること。
混触危険物質	: 強酸、強塩基、強酸化剤、禁水性物質。

特定の最終用途

本品は水、非イオン性界面活性剤、および殺菌剤を独自の方法で混合した混合物である。

セクション8：暴露制御および保護措置

管理パラメーター データなし

生物学的限度値 データなし

暴露制御

適切な工学的管理方法	: 暴露の可能性のある区域のすぐ近くに緊急洗眼器および安全シャワーステーションを設置する必要がある。密閉区域（閉所）では特に、十分な換気確保すること。国および地域の規制すべてに従っていることを確認すること。
個人用保護具	: 手袋。防護服。保護眼鏡。



防護服の素材	: 耐薬品性の素材および生地。
手の保護	: 保護手袋を着用してください。
眼および顔面の保護	: 化学物質対策用の保護眼鏡。
皮膚および身体の保護	: 適切な防護服を着用すること。
呼吸器の保護	: 暴露限度を超えた場合や、炎症が生じた場合は、承認された呼吸器の装着が必要。換気が不十分な場合や、酸素欠乏状態の場合、もしくは暴露限度が不明な場合は、承認された呼吸器を装着すること。
熱危険に対する保護	: データなし
その他の情報	: 使用中は、飲食または喫煙しないこと。

セクション9：物理的及び化学的性質**基本的な物理的及び化学的性質に関する情報**

物理的状态	: 液体
外観	: データなし
臭い	: データなし
臭気閾値	: データなし
pH	: データなし
蒸発速度	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火温度	: データなし
熱分解温度	: データなし
火炎燃焼性（固体、気体）	: データなし
蒸気圧	: データなし
20°Cでの相対蒸気密度	: データなし
相対密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
粘度	: データなし

爆発限界

: データなし

その他の情報 データなし

セクション10：安定性及び反応性**反応性**

通常の使用条件下では、危険な反応が生じることはない。

化学的安定性

推奨されている取扱いおよび保管条件下では安定（セクション7を参照）。

危険有害反応可能性

危険な重合は生じない。

避けるべき条件

直射日光、極端に高い温度や低い温度、混触危険物質。

混触危険物質

強酸、強塩基、強酸化剤、禁水性物質。

危険有害な分解生成物

通常の使用条件下では、一切想定されていない。

セクション11：有害性情報**毒性に関する情報**

急性毒性（経口） : 区分外

急性毒性（経皮） : 区分外

急性毒性（吸入） : 区分外

皮膚腐食性/刺激性 : 区分外

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分外

呼吸器感作性または皮膚感作性 : 区分外

生殖細胞変異原性 : 区分外

発がん性 : 区分外

生殖毒性 : 区分外

特定標的臓器毒性（単回暴露） : 区分外

特定標的臓器毒性（反復暴露） : 区分外

吸引性呼吸器有害性 : 区分外

その他の情報 : 区分外

セクション12：環境影響情報**毒性**

水生環境有害性（急性） : 区分外

水生環境有害性（慢性） : 区分外

残留性および分解性

Snoop®

残留性および分解性 : データなし。

生物蓄積性

Snoop®

生物蓄積性 : データなし。

土壌中の移動性

Snoop®

生態系 - 土壌 : データなし。

他の有害影響

オゾン層への有害性 : 区分外

その他の情報 : 環境への放出を避けること。

セクション13 : 廃棄上の注意

廃棄方法

廃棄に関する推奨事項 : 国際、国、都道府県、市区町村の規制すべてに従って廃棄すること。
その他の情報 : 環境への放出を避けること。

セクション14 : 輸送上の注意

本書に記載されている輸送に関する説明は、本書が作成された時点での一定の前提に従って作成されたものであり、本書が発行された時点で既知であったかどうかにかかわらず、不確定要素によって異なる可能性がある。

陸上輸送（国連危険物輸送勧告：UNRTDG） 輸送規制対象外

航空輸送（国際航空運送協会：IATA） 輸送規制対象外

会場輸送（国際海上危険物規程/国際海事機関：IMDG/IMO） 輸送規制対象外

MARPOL付属書IIおよびIBC Codeによるバラ積み輸送 非該当

その他の情報

その他の情報 : 補足情報なし。

セクション15 : 適用法令

規制に関する情報 追加情報なし

セクション16 : その他の情報

作成日または最終改訂日 : 2020/12/09
出典 : 本書は、日本の危険有害性周知基準JIS Z 7253およびJIS Z 7252の安全データシートの要件に基づいて作成された文書である。

日本GHS SDS

本情報は、当社の現状の認識に基づくもので、健康、安全、環境要求事項の参考情報を提供する目的で製品を説明することのみを意図した情報です。したがって、本製品の特定の性質を保証する情報と解釈してはならないものとします。